

産業技術総合研究所 自己評価検証委員会
地質調査総合センター分科会 議事要旨

1. 日時：令和3年3月24日（水） 10：00～15：00

2. 場所：Web 会議による開催

3. 議事概要

(1) 地質調査総合センターの概要・戦略

地質調査総合センター 総合センター長 矢野 雄策

- 資料に基づき、研究領域の概要・戦略について説明が行われた。その後、第5期中長期目標期間の1年目の評価の位置づけや論文数・外部資金額の増減などについて質疑応答を行った。

(2) 社会課題の解決に向けて全所的に取り組む研究開発

○環境保全と開発・利用の調和を実現する環境評価・修復・管理技術の開発

環境調和型産業技術研究ラボ 研究ラボ長 中尾 信典

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、表層土壌評価基本図の作成に関することや外部機関との連携などについて質疑応答を行った。

○強靱な国土と社会の構築に資する地質情報の整備と地質の評価

活断層・火山研究部門 研究部門長 伊藤 順一

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、ひずみ計データと南海トラフ地震情報との関係や富士山ハザードマップと防災対応などについて質疑応答を行った。

(3) 経済成長・産業競争力の強化に向けて各領域で重点的に取り組む研究開発

○産業利用に資する地圏の評価

地圏資源環境研究部門 研究部門長 光畑 裕司

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、地下水の極微小流速測定システム、天然ガス層から検出された新しいバクテリアなどについて質疑応答を行った。

(4) イノベーション・エコシステムを支える基盤整備

○土壌汚染等評価・措置に関する各種試験方法の標準化

地圏資源環境研究部門 研究部門長 光畑 裕司

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、土壤汚染に関する標準化に関することやJIS化に向けたロードマップなどについて質疑応答を行った。

○地質調査のナショナルセンターとしての地質情報の整備

地質情報研究部門 研究部門長 荒井 晃作

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、地質図やアウトリーチ活動などについて質疑応答を行った。

○地質情報の管理と社会への活用促進

地質情報基盤センター センター長 佐脇 貴幸

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、地質図 Navi や地質標本館のコロナ対応などについて質疑応答を行った。

(5) 全体質疑

- 全体の質疑応答を行った。

(6) 委員討議

- 委員による討議が行われた。

(7) 主査からの講評

- 主査および専門委員から講評が行われた。研究領域の今年度の活動を高く評価すること、「社会課題の解決」が産総研全体のミッションとなり、ますます研究成果に期待していること、などについて言及があった。

4. 分科会委員（敬称略、委員五十音順）

小嶋 智 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授（分科会主査）

三瓶 良和 島根大学 総合理工学部 地球科学科 教授

山中 佳子 名古屋大学大学院 環境学研究科 地震火山研究センター 准教授